

平成30年度 第4回沼田市市民構想会議の概要について

1 日 時 平成30年8月29日（木） 午後2時～4時15分

2 場 所 沼田市役所第二会議室（北庁舎3階）

3 出席者 ◆委員

木村敬史会長

大平孝雄委員、小林和幸委員、中澤 均委員、桑原幸夫委員、

小林昭紀委員、太田あや子委員、松井孝夫委員、堤美也子委員、

小田川裕哉委員、峯川卓美委員、角田郁夫委員、沼田康子委員

（13名／24名）

◆アドバイザー 篠田 暢之氏

◆沼田市 五十嵐副市長、師総務部長

（事務局 石井企画課長、武井企画係長）

4 配付資料

○次第

○第3回沼田市市民構想会議の概要について

○第3回沼田市市民構想会議概要〔要約〕

○「食と農業振興」に関する主な意見

○第六次総合計画＜抜粋＞

○沼田市観光基本計画

○平成28年観光客数・消費額調査（推計）結果

○クリーンウッド法の手引とQ&A

○天空の城下町 ～真田の里 沼田～

○利根沼田エリア観光ガイドブック 旅ビタ

○文化財ガイド

5 議 題

（1）「食と農業振興」に関する意見について

【協議経過】

○各委員から提出された「食と農業振興」に関する意見をもとに、現状と課

題、あるべき姿、改善策などについて議論した。

【主な意見】

- 「食と農業振興」、「地産地消」について
 - ・「食」の定義が曖昧で、農業振興と結びついてこない。
 - ・改善策の「地産地消」が、現実には何を指しているのか、よく分からない。
- 地域の伝統的な作物を大切にしていける一方で、農業系研究機関との連携により、沼田市の気候に適した農作物を提供していただき、小さな面積でも多種類の農作物を栽培するなかで、市民をはじめ、市外の方々にも食や農業に興味を持っていただく取り組みを行ってはどうか。
- 使用されている農薬の安全性について、消費者に十分理解されていないので、本当に安全なのか、輸入農作物を含めて消費者に情報発信していかないと食の安全性は守れない。
- 農家の高齢化や後継者不足などにより、地域での営農が崩壊してしまうことを危惧しており、現段階でも耕作放棄地対策、農道や水路の維持、鳥獣害対策など集落環境を維持することも困難になっているので、農業後継者対策や地域営農を支える農業生産法人の設立などについて、行政からの支援が必要になっている。
- 農業分野、福祉分野の連携について
 - ・障害者施設で農業に取り組んでいる事例もあり、農福連携による農業振興も大事な視点である。
 - ・農業と特別支援学校の連携も注目していくところであり、在学中に長期間のインターンシップとして受け入れて、子どもの個性や適性を見極めていくということも考えられる。
- 農業雇用（労働力の確保）について
 - ・農繁期が重複するため、繁忙期には農作業の労働力が不足してしまう一方で、農閑期を含めた通年雇用ができないため、労働力を確保できず経営規模を拡大したくてもできない状況になっている。
 - ・農業系研究機関と連携して、農閑期に栽培できる農作物を広めることで通年雇用による労働力の確保が期待できる。

・ゴルフ場やスキー場など、繁忙期が異なる業種と連携することで、通年雇用することも考えられる。

○土地改良事業ができずに狭隘で不整形な農地を多く抱える地域では、農地の竹林化、山林化を抑制するだけで精一杯であり、とても農業振興までは考えられない状況であるので、そうした現実をしっかりと見ながら改善策について議論していく必要がある。

○JAは営農だけで成り立っているわけではないという現状を考えると、農業後継者対策を含めて営農指導そのものを行政が担っていないと、農業は壊滅的な状況になっていくのではないかと危惧している。

(2) 提言に向けた検討について（「観光振興」）

【協議経過】

○ふたつめの検討テーマである「観光振興」についてご協議いただいた。

【主な意見】

○姉妹都市など他都市との交流事業として、子どもたちを相互に長期滞在させながら、お囃子などを覚えさせてもらって、各都市のお祭りに参加させていただくなどの交流ができると良いと思う。

○沼田まつりへの参加と老神温泉への宿泊をパッケージして観光商品化することにより、観光客を沼田まつりへ取り込むことを考えてはどうか。

○今もなお「沼田は尾瀬の玄関口」と思っている方がいらっしゃるが、観光のありようが、昔と大きく変わってきているという事実を受け入れることも大事である。

○豊富な観光資源がある地域と言われながらも、観光分野が伸びていない原因としては、観光という意識が市民の中に根付いていないこと、そして、沼田市や観光協会、商工会議所、東部商工会など関係団体の横の連携ができていないことなどが考えられる。

○沼田市だけでできることには限界があるので、もっと広い視点で利根沼田地域全体をひとつの観光エリアとして誘客することを考える必要がある。

【結 論】

○今回の議論を踏まえ、「観光振興」の現状と課題、あるべき姿、改善策について、各委員からの意見を書面でご提出いただくこととした。

(3) その他

○今後の会議日程を次のとおり確認した。

- ・第5回会議 10月23日(火) 午後2時 沼田市役所 第二会議室
- ・第6回会議 11月20日(火) 午後2時 沼田市役所 第二会議室